

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [7つの習慣](#) | [主体的である①](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

### 主体的である①

#### 主体的である①

ヴィクトール・フランクルという心理学者がいる。  
 フランクルは心理学者でもあるが、また精神科医でもありユダヤ人でもあった。  
 彼は第二次世界大戦時にナチスドイツの強制収容所に送られ、筆舌に尽くしがたい経験をした。  
 彼の両親、兄、妻は収容所で病死し、あるいはガス室に送られた。  
 想像を絶する過酷な状況の中で、フランクルは人間だけが授かった自覚という能力を働かせ、人間の本质を支える基本的な原則を発見した。  
 それは「刺激と反応の間には選択の自由がある」という原則である。

選択の自由の中にこそ、人間だけが授かり、人間を人間たらしめる四つの能力（自覚・想像・良心・意思）がある。

「自覚」は、自分自身を客観的に見つめる能力だ。

「想像」は、現実を超えた状況を頭の中に生み出す能力である。

「良心」は、心の奥底で善悪を区別し、自分の行動を導く原則を意識し、自分の考えと行動がその原則と一致しているかどうかを判断する能力である。

そして「意思」は、他のさまざまな影響に縛られずに、自覚に基づいて行動する能力である。

動物は、たとえ知力の高い動物でも、これら四つの能力のどれ一つとして持っていない。

動物は本能や調教で行動しているだけだが、人間は四つの能力を使えば、本能や調教とは関係なく自分で新しいプログラムを書くことができる。

だから動物にできることには限界があり、人間の可能性は無限なのだ。

人間の本质の基本的な原則である選択の自由を発見したフランクルは、自分自身の正確な地図を描き、その地図に従って、効果的な人生を営むための第1の習慣「主体的である」ことを身につけ始めた。

主体性とは、自発的に率先して行動することだけを意味するのではない。

人間として、自分の人生の責任を引き受けることも意味する。

私たちの行動は、周りの状況ではなく、自分自身の決定と選択の結果である。

私たち人間は、感情を抑えて自らの価値観を優先させることができる。

人間は誰しも、自発的に、かつ責任を持って行動しているのである。

人間は本来、主体的な存在である。

だから、人生が条件づけや状況に支配されているとしたら、それは意識的にせよ、支配されることを自分で選択したからに他ならない。

そのような選択をすると、人は反応的になる。

反応的な人は、周りの物理的な環境や社会的な環境に影響を受ける。

天気が良ければ気分も良くなり、悪いと気持ちがふさがり行動も鈍くなる。

主体的な人は自分の中に自分の天気を持っている。

雨が降ろうが陽が照ろうが関係なく、自分の価値観に基づいて行動している。

質の高い仕事をするという価値観を持っていれば、天気がどうであろうと仕事に集中できるのだ。

衝動を抑え、価値観に従って行動する能力こそが主体的な人の本質である。

フランクルによれば、人生には3つの中心となる価値観があると言う。

一つは「経験」、自分の身に起こることである。

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

二つ目は「創造」であり、自分でつくり出すものの価値だ。

そして三つ目は、「姿勢」である。

不治の病というような過酷な現実と直面したときの反応の仕方だ。

フランクルはパラダイムの再構築において、この三つの価値のうちで一番大切なのは「姿勢」だと言っている。つまり、人生で体験することにどう反応するかがもっとも大切なのである。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

📄 サイトマップ 📄 このサイトについて 📄 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.